



人権の尊重

人権啓発活動

「大成ロテック企業行動規範」で基本的人権の尊重を掲げ、社長を委員長とした人権啓発協議会を設置して、差別のない社会の実現とハラスメントのない良好な職場環境づくりを推進しています。また、人権啓発研修会の実施はもとより、各社内研修のカリキュラムにも人権研修を組み入れ、さらにイントラネット上での「人権啓発のしおり」の掲載や、各事業場でのハラスメントに関する相談員の配置など、従業員に対し人権に対する意識の向上を図っています。



人権啓発のしおり

人権啓発協議会

目的

- ① 同和問題をはじめ社会に存在する様々な差別事象を正しく認識する。
- ② 不合理や差別を無くすよう努力する社員の行動を促進する。
- ③ 人権尊重の目的を達成する為の啓発活動を行う。

活動方針

- ① 『人権は本来持っている権利であり、全ての人が等しく幸せな生活を営むための基本的な権利』であることを正しく認識し、より良い人格形成を目指す社員の成長を支援する。
- ② 同和問題、障害者、エイズ、セクハラ等の差別の実態を正確に理解し、集合研修や職場等で人権意識の高い従業員の育成をはかる。

人の集う、働き甲斐のある会社の実現

ワークライフバランスへの取り組み

取組内容	活動内容
時短推進	<p>早く帰ろうデーの実施 PC自動シャットダウンシステムを導入し、社員組合の掲げる「毎週水曜日の早く帰ろうデー」を後押ししています。</p> <p>働き方改革への取り組み 社内に「労働時間に関する協議会」を設置し、さまざまな施策の立案・効果の分析を行っています。</p>
休暇取得	<p>長期休暇 夏期、年末年始には特別休日のほか計画年休や休暇取得推進日を設け、6~11日程度の連続休暇となるように設定しています。ゴールデンウィークも同程度の連続休暇となるよう設定しています。</p> <p>リフレッシュ休暇・特別慰労休暇 勤続15年を迎えた社員にはリフレッシュ休暇として連続7日の休暇を、勤続25年を迎えた社員には特別慰労休暇として連続7日の休暇および旅行券を付与し、長年の勤務に対し慰労するとともに、心身ともにリフレッシュしさらなる活躍の契機となる制度を設けています。</p>
子育て支援	<p>仕事と子育ての両立 社員が能力を十分に発揮できるように次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定や、出産・育児や介護にかかわる休業・休暇制度の整備をしています。(2016年度の女性育児休業復帰率：100%)</p>
その他	<p>福利厚生充実 従来の福利厚生サービスを見直し、より旅行やショッピングなどで幅広く便利に使えるサービスを導入しました。</p>

労使関係

当社社員組合とユニオンショップ協定を結んでおり、管理職などを除くすべての正社員が組合員となっています。労使関係や会社の事業活動の円滑化を目的に毎年労使間でアンケート調査やさまざまな対話を実施しています。労働条件の変更などは労使で協議する事項としてあらかじめ労使間で決定しています。

人材開発教育活動

新入社員研修に始まり階層別研修や各種専門研修、資格試験対策研修を体系的に実施し、OJT教育、通信教育制度などと合わせて、従業員の成長をバックアップしています。

	スキルアップ研修	部門別専門研修
内定者	内定者教育(通信教育)	
1年目	新入社員合同研修 新入社員フォローアップ研修	
2年目		基礎技術(2年次)研修 初級品質管理担当者研修
3年目		技術(3年次)研修 中級品質管理担当者研修
4年目		工事担当者(4年次)研修
5年目		上級品質管理担当者研修
6年目		工事担当者(6年次)研修・プレゼン研修
7年目		管理担当者研修
8年目		現場代理人研修
9年目		統括管理能力向上・業務改善研修
10年目		統括管理能力向上・ISO内部監査研修 新任営業所長研修 新任工事事務所長研修 新任工場長研修
35歳	新任係長格研修	
40歳	マネジメント研修	
45歳	新任課長格研修	
50歳	部長格研修	
55歳		
60歳		

※掲載の研修は一例であり、ほかにも多数のプロジェクトを実施しています。

資格取得支援

全社員を対象として業務上必要となる資格・免許などの取得について、受験対策研修の実施や受験費用などを支援し、各分野におけるスキルアップを図っています。

資格一例

- 1級土木施工管理技士
- 1級舗装施工管理技術者
- 1級建設機械施工技士
- 1級建築施工管理技士
- 1級建築士
- 技術士
- 監理技術者資格
- 監理技術者講習
- 測量士
- コンクリート主任技士
- 1級建設業経理士
- 衛生管理者
- 危険物取扱者
- 博士号
- その他多数

未成年社員に対する教育・指導

未成年社員と年齢に近い社員を指導員に任命し、生活指導や社会人としてのマナーの教育をするとともに、コミュニケーションを図っています。

社長表彰・部門長表彰

多大な功績を挙げ、社業の発展・向上に寄与した個人や団体を表彰し、業務改善・創意工夫などの意欲向上を図っています。

テクノフォーラム2016開催

7月12日、鴻巣研修センターで「テクノフォーラム2016」が開催されました。第1回となる1992年より、当社の高い技術力を全社的に共有することを目的に隔年で開催されていましたが、2013年度から社員のプレゼン能力向上を目指し、毎年の開催となりました。発表は、「ICT(情報化施工)を活用した省力化技術」など17編で、事前に提出された論文と当日の発表内容によって審査が行われました。発表者と参加者による活発な意見交換があり、社員の創意工夫や技術提案を知る最高の機会となりました。



テクノフォーラム2016受賞者